

五 観 の 偈

一には功ひとつ こう たしやうの多少はかを計り、彼の来処らいしよを量る。

四には将よつ まさに良薬りやうやくを事とするは、形枯ぎようこを療りようぜんがためなり。

二には己ふたつ おのれが徳行とくぎやうの、全缺ぜんけつを付つて供くに応ず。

五には成道じやうどうのための故ゆえに、いま此この食じきを受うく。

三には心みつ しんを防ふせぎ過とがを離はなるゝことは、貪等どんとうを宗しうとす。

願ネガはくは此コの功徳カドクを以モッて、普アマネく一切サイに及オヨぼし、我等ワレラと衆生シュジョウと、皆共ミナトモに仏道ブツドウを成シヨウせんことを。

五 紀 偈

曹洞宗 大本山總持寺